

協議会だより

E-Mail : kyougi@shiminkatudo-hachioji.jp

八王子市民活動協議会

八王子市明神町4-13-10

TEL/FAX : 0426-46-1626

平成17年7月1日 **第3号**

(年4回発行)

6月30日現在の会員数

団体正会員	41 (Δ3)
個人正会員	29 (Δ2)
団体賛助会員	0
個人賛助会員	17 (Δ1)
協力会員	38
合 計	125 (Δ6)

三役の皆さんの抱負等

会長 浅野里恵子 (政策提言部長、支援センター担当)

引き続き会長をお受けする事になりました。18年度から支援センターも指定管理者制度の対象となります。協議会にとって、支援センターの管理・運営は必須です。できる限りの努力をしていきたいと思いません。よろしく願いいたします。

副会長 石井利一 (総務部長)

来年度から発足する指定管理者制度への対応を巡っていろいろな課題があります。NPO 法人資格の問題、個人情報保護法に関する協議会、支援センターの対応の問題等、的確に対応すべく力を尽くします。

副会長 大山 孝 (広報部長)

新しく理事になりました。梅本さんの後任として広報を担当いたします。よろしく願いいたします。

会員の皆さんの交流、情報の交換や提供、提携や支援のお手伝いという視点を深めていきたいと思っております。

副会長 大森一美 (啓発部長)

前年度に引き続き啓発部を担当いたします。啓発部のイベントも回を重ねるごとに市民活動の奥深さ、幅広さに気づかされ、市民の力を再認識しています。

今年度は活動分野ごとのネットワークにも力をおき、相互に影響しあい協力しあえるネットワークの構築に微力ながら力を尽くしたいと思います。会員の皆様のご指導、ご協力をよろしく願いいたします。

副会長 関谷真一 (データベース部長)

協議会は、市内の市民団体の連携をいかし、新たな事業を提案する段階となりました。

活動団体や個人が、サービスや生きがいを必要としている団体や個人とつながり、市民生活の向上に役立つようになればと思います。



(第一回理事会)

新役員体制決まる！

去る五月二十二日、東京都八王子労政会館において、市民活動協議会の第四回通常総会を開催しました。
「平成十六年度事業報告及び収支決算」「平成十七年度事業計画案及び収支予算案」「理事及び監事の選任」「議事録署名人の選任」の四議案がそれぞれ決選任されました。
新理事については、立候補者十七名全員が選任されるとともに、監事には、芝敏子氏、吉岡奈津絵氏が選任されました。
総会終了後、第一回理事会において、役員人事や理事の担当分野などが協議され、新体制が決まりました。
今回は、選任された会長、副会長、事務局長にそれぞれ抱負等を語ってもらうことにいたしました。また、新理事の担当分野などもご紹介いたします。



第四回通常総会

副会長 坂野大義 (市民事業開発部長)

協議会の顧客の第1は協議会会員(団体と個人)であり、第2は現在会員ではない多くの市民団体と市民です。顧客が望んでいること、期待している事を事業の形にして提供する事が当部の使命であります。会員の知恵と力を借りてお金が取れる事業を開発したい。

事務局長 廣川英資

市民ひとり一人が輝きながら、助け合い、支えあって暮らせるまちづくりに役立ちたい。八王子市民活動協議会が目指していることがまさに市民活動の活性化であり、自分の思いを組織ぐるみで実現できる喜びを感じます。

新理事の担当分野

理事の皆さん、これからの協議会の舵取りをよろしくお願いします。

会 長 浅野里恵子（政策提言部長、支援センター担当）
副会長 石井利一（総務部長）
副会長 大山孝（広報部長）
副会長 大森一美（啓発部長）
副会長 関谷真一（データベース部長）
副会長 坂野大義（市民事業開発部長）
理 事 中山一江（総務部、市民事業開発部）
理 事 足立光正（市民事業開発部）
理 事 春田博（啓発部）

理 事 吉永鴻一（支援センター長、〈相談部長〉）
理 事 村田雅子（広報部、〈相談部〉）
理 事 添田繁實（市民事業開発部、啓発部、〈相談部〉）
理 事 梅本和比古（広報部）
理 事 春本高夫（総務部）
理 事 濱田雄三（〈相談部〉）
理 事 塩澤迪夫（総務部財務担当）
理 事 廣川英資（事務局長）

※ 〈相談部〉は支援センターのみ 以上17名

イベント情報のお知らせ

市民活動スタッフ養成講座

期間：7月～12月の6ヶ月コース

座学は毎週火曜日13時～16時半実施

参加費：一人5,000円

最少開講人数：6名 定員10名

（定員になり次第締め切り）

講座の会場：主として八王子市市民活動支援センター

問合せ・申し込み：八王子市市民活動協議会

（TEL & FAX 0426-46-1626）

7月5日開講で6ヶ月間のコースです。

最初の3ヶ月間は第1～第3火曜日は集合学習、第4火曜日はチーム作業を行います。後半の3ヶ月は希望する団体で実習を行ってもらい、第4火曜日はチーム活動と体験交流を行います。

なお、この講座は参加者が6名以上で開催します。参加費5000円と決して安価ではありませんが、人生の新しい扉を開く機会です。是非参加してください。（申し込み受付中）

7月5日(火)	入塾式、 第1講 市民活動の現状と課題
7月12日(火)	第2講 市民活動を推進する八王子市の施策
7月19日(火)	第3講 NPO法人と設立実務
7月26日(火)	第1回 チーム活動検討会
8月2日(火)	第4講 NPO税制と団体の資金管理、会計原則
8月9日(火)	第5講 団体の運営
8月16日(火)	第6講 市民活動の組織化（事例研究）
8月23日(火)	第2回 チーム活動検討会
9月6日(火)	第7講 会員のリクルートと会員管理
9月13日(火)	第8講 広報活動の実務
9月20日(火)	第9講 市民活動の新たな課題
9月27日(火)	第3回 チーム活動検討会
10月25日(火)	実習 第4回 チーム活動検討会と体験交流
11月22日(火)	実習 第5回 チーム活動検討会と体験交流
12月27日(火)	実習 研究発表会と卒塾式

お父さんお帰りのさいパーティー実行委員の募集

市民活動協議会の独自事業である「お父さんお帰りのさいパーティー」は今年度で第4回目の年となります。定年を迎えたり、これから迎える方々に、八王子市のボランティア活動を知って頂く為の紹介イベントを行うボランティア実行委員になってみませんか。

活動を通じて、仲間が出来、活動を通じて市民活動の良さがわかってくる。そんな実行委員の仲間を募集しています。詳しくは市民活動協議会へ。

電話：46-1626

市民活動の担当部員を募集しています

市民活動支援を担当するボランティアを募集しています。

活動分野は総務、広報、ホームページ、啓発（講習会やイベントの企画・運営）データベース等です。詳細は支援センターへ。 電話：46-1577

NPO法人化に関するアンケートにご協力下さい

協議会では只今、会員の皆さんへ協議会をNPO法人化するかどうかについてアンケートを実施しております。**7月3日**が締め切りですので、よろしくご協力をお願い致します。

新団体ハチネットの紹介

当協議会が主催した勉強会を母体として、生まれた「八王子移動サービスネットワーク（通称ハチネット）」が5月26日、NPO法人として認証されました。本法人は高齢、障害、腎臓透析などの病気等で移動が困難な人たちの外出支援を目的として結成されました。

ハチネットでは、会の運営スタッフを求めていますので関心のある方は、下記へご連絡下さい。

ハチネット代表者 扇澤正治

TEL・FAX 0426-66-9092

協議会では下記の事業を実施しました！

1. お父さんお帰りなさいパーティーの フォローアップイベント開催

① 「池の沢の蛍を守る会」体験ボランティア

開催日 6月7日(火) (参加者 17名)

会場 八王子市館町(池之沢)

協力 「池の沢の蛍を守る会」

今年3月に行った「お父さんお帰りなさいパーティー」の参加者を対象に企画、運営しました。セミナーだけでは具体的な活動につなげるのは難しいので、実際の活動に参加いただき、その楽しさを体験いただくのが今回のテーマでした。当日は谷戸の草刈や伐採など、日ごろはあまり経験することのできない作業をして、とてもさわやかな汗をかきました。



(館町の池の沢にて)



② 「車椅子、擬似高齢者、アイマスクなどの体験イベント」

開催日 6月28日 (参加者 13名)

会場 支援センターおよび周辺の歩道

講師 ボランティアセンター 田中正治氏

目をアイマスクで覆った人の二の腕を掴んで歩くアイマスク体験、器具を付けて高齢になったときの身体の不自由さを味わう疑似体験、乗る人と押す人双方の気持ちを知った車椅子体験を実践しました。いろいろな不自由さを体験しましたが、全般を通して感じたのは言葉によるコミュニケーションの大切さです。目が見えないときでも、車椅子に乗っているときでも、お年寄りになったときでも思いやりの基本はやはり言葉です。その場その場での言葉がとても大切であることを学びました。頭で考えるより実際に体験することが大切です。ぜひ、体験してみてください。



2 「地域防災を考える八王子市民フォーラム」

開催日 6月25日(土) (参加者 42名)

会場 東浅川保健福祉センター

このフォーラムは災害の被害者とならないため、共助の課題を共有化することを目的で開催されました。防災先進都市・国分寺市のケースの解説、八王子市の施策説明、市民団体・地域団体の活動報告や、ワークショップでの活発な意見交換など、4時間に及ぶ熱のこもったフォーラムとなりました。

ある市民参加者は「充実した内容であったが、参加者が少ないことが残念」と感想を漏らしていましたが、「市民が防災を考える集まりを持ったこと自体に意義がある」との評価もあり、継続的な取り組みが必要な分野であることが分かりました。



会員からのお便り

日頃のご活躍ご苦労様です。

私は（協議会だより）の原稿を提出する思考力はありませんが、会員の一人として協議会が益々発展し、八王子発の「オトパ」が日本の「オトパ」になるよう願っています。

会員相互の交流は、最初に協議会が会員に発することから始まると思います。全体の作業では無駄多く効率が低いので、地域（例えば市役所の支所単位）毎に地域の登録団体との斡旋、紹介により馴染む、話題を得る、ことにより自信が持てるとおもいます。

あと2～3年すると団塊の世代といわれる気力、体力、知力、行動力を持った人々が八王子市を住まいに軸足を置く生活が始まるとおもいます。

裏方の仕事ですが頑張ってください。（新川 賢）

市民活動協議会の自立化と協働

協議会の会員は、それぞれの目的をもって主体的に活動している市民です。にも関わらず会員になったのは、地域の発展に寄与できる何かを協議会に求めたのでは。

しかし、現実には、会員拡大のための新たな公共的課題への取組み（非営利活動）が中心となった。結果、財政的な厳しさに直面し、会員への対応が疎かになったと感じます。これからは、新たな公共領域での非営利活動だけでなく、行政の担っている公共領域を協働する（準）営利活動に取組むことです。この活動に取組むことで、会員間の協働が促進されると考えます。一方で、市民活動支援センターの実践例から、市民と協働することが、サービス水準の向上につながることを行政は気づく必要があると思う。（正会員 K・N）

「市民活動協議会の存在意義・目的は何だろう」入会したばかりの私が、最初に考えさせられた事です。私は、市民活動をしている人達に喜んでもらうことだと思いました。

市民活動は、何より「楽しい」ことが一番、楽しくないと続きません。社会の為・子ども達の為などの目的はもちろんです、収入を得る「仕事」以上に精神的満足感が求められるものだと思います。そのために協議会が出来ることは、「興味」を大きくさせることではないでしょうか。私も市民活動をしている一人として、また協議会会員として、興味を持てる楽しみを探して、提供していきたいと思います。

市民活動がより楽しく有意義なものになるよう、「協議会」ならではの魅力をもっと磨いて発揮してほしいと思います。（木下 美樹）

協議会は何色？

市民活動協議会の色は、いったい何色なのだろう。ある画家に、「土の色は何色で描いたらいいのでしょうか」と尋ねた人がいた。その画家は、こう答えたという。「その土地の上にあるものが混ざり合ってきた色です」と。

昔は、藁葺き屋根の家も瓦の家も、その土地に溶けて美しかった——。何故か。その土地のものでできているからだという。様々な色と個性を持った市民団体が、八王子の風土の中で協議会という大地の上で混ざり合った時、果たしてどんな色に。

（青木 正美）



広報紙「市民活動通信」の 駅配布協力者の募集！

現在、八王子市内には七路線（モノレールを含む）の中に二十一箇所の駅があります。この内、年四回発行しています「市民活動通信」は、十三駅の「広報スタンド」に置いてあります。

「市民活動通信」を更に多くの市民の方々に愛読してもらうため、左記の駅の「広報スタンド」にも配布していきたいと考えております。

JR八高線：「北八王子駅」、「小宮駅」

京王高尾線：「京王片倉駅」、「山田駅」

京王相模線：「京王堀之内駅」

モノレール：「中央大学明星大学駅」、

「大塚帝京大学駅」、「松が谷駅」

会員の方で、右記の駅のお近くにお住まいの方、若しくは駅をご利用されておられる方には是非「広報スタンド」に配布していただきたいと思っております。

「市民活動通信」は六月、九月、十二月、三月のそれぞれ一日に発行していますので、配布日は、毎月二日～五日と十六日～二十日の間に配布してください。配布部数は、利用状況により異なりますが、一回当たり二十～三十部程度を予定しております。

ご協力をしてくださる方は、支援センターまでご連絡ください。電話（〇四二六―四六一五七七）

